

## 福祉サービス第三者評価結果表

① 第三者評価機関名

株式会社福祉工房
----------

② 施設・事業所情報

名称：就労継続支援（A型）事業所 ピース 五日町	種別：就労継続支援（A型）
代表者氏名：天口 大地	定員（利用人数）： 43名
所在地： 山形県新庄市字清水川 1303 番地の3 ユニオン五日町ビル	
TEL：0233-29-3651	ホームページ：https://unionsocialsystem.jp/
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日： 平成24年3月16日	
経営法人・設置主体（法人名等）： ユニオンソーシャルシステム株式会社	
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員： 0名
専門職員	職業指導員 1名
	訓練指導員・就労支援員 6名
施設・設備 の概要	プレス機 刺繍機

③ 理念・基本方針

**【理念】**

「ものづくり、人づくりを通じて未来をつくる」

**【基本方針】**

硬式野球のリサイクルボール（商品名「再生球」）の製造を通じて、再生球が満足いく練習球であると認知してもらうこと、そして資源を有効に活用し、ゴミの処分量を削減し、環境への負担軽減を、お客様と一緒に目指します。

お客様の求める品質、納期、コスト等のニーズに、的確に対応できるものづくり企業が目標です。また、再生球をはじめ、硬式球の縫合工程は機械化されておらず、一針一針人が縫わねば作れません。

緻密な技術力を磨き、維持することにより、人材育成と技術の継承を図ります。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・硬式野球のリサイクルボールの製造を通じ、資材の有効活用、ゴミの処分量削減、環境への負担軽減を目指す。
- ・技術力を磨き、維持することにより、人材育成と技術の継承を図る。
- ・安価で美味しい昼食の提供。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年5月18日（契約日） ～ 令和3年10月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

○就業への取り組み

野球ボールのリサイクルを主としての業務としており、いくつかの工程に分割され、利用者の障害の症状に応じて、担当する工程を配分し、毎日利用者は自ら目標を設定し、無理のない範囲での仕事を行っている。又、記念ボールの作成も行っており、利用者も家族へのプレゼントとして作成する等、作ることの喜びを感じられる取り組みが行われている。

○一般就労への取り組み

利用者の一般企業への就労に向けた取り組みとしてハローワーク、地区の就労支援センター等との密接な連携、及び職員による求人情報の探索等を始め、対象利用者に対するビジネスマナーやエチケットの研修、模擬面接の実施や職場見学、職場体験等を通して仕事へ慣れるような取り組み、更に一般就労後の6ヶ月の継続支援に限らず、その後も企業の担当者との話し合いや相談等を継続的に行い、利用者が定着できるような取り組みを行っている。更に、事業所の今後の重点的な取り組みとして、毎年複数利用者を一般就労へ結びつけることを目標としている。

○利用者への利便性の提供

安価で良質な食事（給食）の提供が行われており、希望する利用者には法人の給食センターで作られた給食が昼食時に提供され、温かい状態で昼食を食べることが出来るようになっている。内容的にも量的にも利用者からは好評であり、ご飯も事業所での盛り付けとなっており、量の加減も行われている。

◇改善を求められる点

○事業所の目指す方向をより明確に

法人の理念「ものづくり・人づくりを通じて未来をつくる」をもとに、運営規定に、運営にかかわる方針が掲げられているが、事業の方向性を示すものとしては、不明確となっており、又、事業所においても年度での取り組みが明確には示されていない。管理者と職員が一体となって事業所のより高い質を目指すためにも、明確な方向性を示していくことが望まれる。

○「期待される職員像」をより明確に

運営規定やサービス規定には利用者に対する対応が一部記載されているが、全体としては明確な指針とはなっていない。日常のサービスの提供に関して職員は問題なくある程度良質なサービスを行っているが、より明確にしていくためにも、事業所としての倫理綱領や職員行動指針などを策定し、職員へのサービスの質に関する理解を深める取り組みを行っていくことが望まれる。

○マニュアル・規定類の整備

個人情報保護や感染症対応等一部のマニュアルや規定は策定され、ホームページに記載され常時参照することが出来るようになっているが、内容的には更に充実していくことや、プライバシー保護や利用者の権利擁護、災害対応等に関する規定やマニュアルを策定しておくことも望まれる。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受講し、結果を受け事業所の行うサービスの質を見直す大きな切っ掛けになったと思います。事業計画の策定として、利用者の方へ通達するスケジュールではなく、事業計画の通知や個別の事業計画の必要性等を指摘され、客観的な視点で新鮮な指摘を受けるのは大変、勉強になります。他にも地域連携(イベントの参加)、職員・利用者毎のアンケートの実施は意欲的に取り組みたいです。

良い評価を頂いた項目も、引き続きスキルアップの努力を図り、留まるのではなくサービスの質の向上を職員一同で図りたいと思います。ただ、研修を受講し方法を模索するのではなく、可逆・不可逆や職員一人一人の意向を意識し、互いに学んだ技能・知識・経験を共有することで、全体の能力向上に繋げていければと思います。頂いた評価を参考に、利用者主体の質の高いサービス提供を目指していきます。

⑧ 評価細目の第三者評価結果

別紙のとおり

## 【共通評価項目】

## 評価細目の第三者評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

## Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・(b)・c
<コメント> 法人の「ものづくり・人づくりを通じて未来をつくる」を理念とし、運営規定に運営に関する方針を掲げている。理念は法人のホームページやパンフレットに記載され、職員が日常より目にしている。事業目標をより具体的に示し、事業の方向性を示した方針を明文化し、職員への配布・説明、利用者への説明を行っていくことが望まれる。		

## Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・(b)・c
<コメント> 新庄市の地域福祉計画を参考に、社会や地域における福祉環境の情報を得ている。又、地区の就労支援センターや、ハローワークなどとの打ち合わせの際、地区の環境に関する情報を得ている。更に、得られた情報を毎月の職員会議等で職員に伝達し、説明していくことも望まれる。		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・(b)・c
<コメント> 事業所運営にかかわる課題は、毎月の職員会議で話し合われるが、主に作業上の課題となり、事業所の運営にかかわる事柄に関しての話はあまりしていない。職員間で、事業所運営上の課題に関しても話し合い、課題解決のための具体的取り組みを計画し実施していくことが望まれる。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期的計画は現在、法人及び事業所としても策定されていない。理念や事業目標を達成していくための中長期的取り組みを検討し、具体的な計画を策定し実施していくことが望まれる。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>単年度の事業計画は法人として策定されている。事業計画はやや概略的となっており、又、イベントや研修のスケジュールが主となっている。事業所としての年度の計画も策定されていない。法人の年度の事業計画をより具体的に作成し、職員の目標が明確となるように、事業所として取り組んでいくことが望まれる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所としての課題の解決のための取組や、目標を明確にし、法人とのすり合わせを行い、法人全体の計画に反映していくことが望まれる。又、策定にあたっては策定スケジュールを明確にし、職員全体と確認していくことが望まれる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者に対しては避難訓練等のスケジュールについては知らせてあるが、事業計画の内容や文書は配布していない。事業計画の内容を検討し利用者などに内容の説明や必要な部分を別途記載した文書を配布するなど、理解を促す取り組みを行っていくことが望まれる。</p>		

### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月行われる職員会議で、現状の支援に関する内容に関して話し合い改善への取り組みは行われているが、仕組みとしてはできていない。事業所におけるサービスの質に関して、職員による自己評価などを定期的に行い、課題を把握し、改善に結びつける取り組みを行っていくことが望まれる。</p>		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員会議での話し合いの中から、改善点に関して、事業所内でできることに関しては取り敢えず実施し、様子を見て修正するなどの工夫も行われている。現状のサービスの質を確認し改善へ結びつける仕組みを構築していくことが望まれる。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所の運営規定に職員の責任と役割が明記されており、管理者の役割と責任も明確となっている。運営規定は事業所内に配置され各職員が常に閲覧できるようになっている。職員が職務分掌に関する規定を見る機会はあまりなく、職員に対する説明や管理者としての方針を年度初めの職員会議等で表明していくことも望まれる。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<b>(a)</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理者はコンプライアンスに関する外部研修を毎年受講し、事業所内で行われる研修会議で職員に対し必要な資料を配布し伝達研修を行っている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月定期的に行われる職員研修とは別に、外部研修などに職員が出席した時には、伝達研修のための研修会議を設け、全職員が研修内容を理解するように取り組んでいる。又、利用者からの意見に関して職員会議等で話し合わせ、改善のための取組に結び付けている。更に、利用者へのアンケートや職員の自己評価を実施するなど定期的に現在の事業所のサービスの質を確認する仕組みを検討していくことも期待される。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	<b>(a)</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常より業務効率などに関しては職員から提案がなされ、実施可能なものについては、その場で対応し、検討が必要なものについては職員会議やCS会議（管理者会議）で議論し対応の可否が検討されている。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>人材の採用は本社で一括して行われ各職場に配置されている。現在の事業所における職員数は計画に対し充足しており、ここ1年での退職者はいない。職員に要求される専門知識を習得するため、行動障害への対応など専門的な研修の受講が進められている。職員満足の為の取り組みも行われており、職員の満足度調査が行われている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一般的な人事評価制度は行われておらず、職務等級が設定され、各職員の格付けが行われている。格付けは本社で行われ、事業所での関与はあまり行われておらず、やや透明性に欠ける部分が見られる。職員の行動指針などを明確にしていくことや、管理者による評価やフィードバックなどを組み込んだ仕組みを構築していくことが望まれる。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の就業状況は、小規模の事業所でもあり管理者により把握されている。基本的に残業は行われていない。有給休暇に関しても取得が奨励されているが、まだ十分に切り切れてはいない。家庭の事情により勤務が不規則になる場合も、他の職員とのシフト調整などで極力対応されている。更に、確実な有給取得のためのスケジュールの作成や、職員の意見を聞くための個別面談の設定などを行っていくことが期待される。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>運営規定等に職員の利用者に対する対応が規定されているが、更に職員倫理規定や行動指針などを策定し、事業所における「期待される職員像」を明確にしていくことや、各職員目標を設定し、個別面談を行う等の目標管理を検討していくことが望まれる。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所の職員として必要とされる知識や技能に関しては把握され、年間での研修計画が予定されている。更に、研修に関しての計画をより明確にしていくために、個々の職員の必要とされる知識に基づく計画を立てていくことも期待される。</p>		

19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>新入職員研修は管理者が指導者となり事業所で実施されている。又、少人数の職場でもあり、個々の職員の技能や知識に関して管理者は把握しており、必要に応じた研修を受けることを推奨している。更に、各職員の研修記録を作成し、的確に受講できるように取り組んでいくことも期待される。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生の受付は原則として本社で行われ、法人内の各事業所に割り当てられている。事業所では最近では実習生の受け入れは行われていない。インターンシップとして大学生を2名ほど過去に受け入れを行った他、特別支援学校の生徒を毎年1~2名職場実習として受け入れている。指導は管理者およびサービス管理者が行っている。</p>		

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の概要や取り組み、各事業所に関する情報はホームページに掲載され、パンフレットも作成され利用希望者や家族などに配布されている。又、制度に従い法人の事業活動明細が公表されている。苦情は記録簿に記録され、本社への報告が行われているが、公表は行われていない。又、地域の支援センター等関係する機関へは事業所の概要に関する資料を配布説明が行われているが、地域の方々への配布説明は行われていない。苦情の公表に関しての仕組みや、地区の方々に対する情報提供を今後検討していくことが望まれる。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所の経理や事務処理に関しては、すべて法人の規定に従って行われており、定期的に本社の経理部の確認が行われている。又、原則として利用者の金銭を預かることは行われていない。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>運営規定に「地域との連携を強化」と記載されているが、主に就職支援センターやハローワークなど関係する機関が主となっており、地域の方々との連携に関しては触れられていない。地区の自治会には事業所として加入しているが、活動への参加は行われていない。災害時における地域との連携や地区のイベント等への利用者の参加などを行うためにも、地区の方々との連携を検討していくことが望まれる。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所としては現在ボランティアの受け入れは行われていない。現在は新型コロナウイルス感染症の為、中断しているが、地区の中学校の生徒による職場体験として2~3名の受け入れが行われている。レジャーやイベント参加時などの補助として、地域との連携と合わせ、ボランティアの受け入れを検討していくことが望まれる。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>市役所などの行政や、就職支援センター、ハローワーク、病院など地域における関係機関や他の支援事業所とは、定期的ではないが、必要に応じて連携や相談が出来る関係が作られている。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談支援事業所等との打ち合わせから、地域の福祉ニーズに関する情報を得ているが、地域の住民からの情報も得ていく活動を行っていく事も望まれる。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>関係機関からの情報を基に、事業所で作成した飛沫防止のスタンドや、事業所で袋詰め作業を行っているマスクを小学校や、最上総合支庁などに無償で配布を行った。更に、地域との連携を深め、地域の活性化のための支援なども検討していくことも期待される。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現状では職員倫理規定は作成されていない。サービス規定に利用者に対する支援の姿勢が規定され職員の行動規範とされているが、より明確に利用者の尊重等を表すためにも、倫理規定や行動指針を策定し、職員への理解と実施の徹底を図っていくことが望まれる。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「個人情報保護に関する方針」が策定され利用者の個人情報の取り扱いに関する規定が策定されているが、個人情報以外に利用者の尊厳を確保した支援に関する規定に関しても策定し、研修などにより職員への理解を深めていくことが望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用希望者には事業所の概略を記入した資料を基に、パンフレットなどを使用し、又、実際の作業を見てもらう等により、事業所における業務の実際を理解してもらっている。又、必要に応じて事前の職場見学や職場体験なども行われている。更に、施設外就労もあり、これらも写真などを使用し理解してもらおうような取り組みも行っていくことが期待される。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	<b>(a)</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実際の作業開始にあたっては、入所までの流れに関して、フローチャートが作成され、これを見ながらの説明が行われ、最初に簡単な作業からスタートし、利用者の適性を見ながら、徐々に別の工程を担当させている。作業にあたってはサービス管理責任者等により作業指導が行われている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	<b>(a)</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人内の事業所の変更に関しては、利用者の了解のもと、ケア記録、アセスメント等の書類を引き継いでいる。又、一般企業への就労にあたっては企業の担当者との打ち合わせと、半年間の継続フォローを行い、更に必要に応じてその後の支援も行われている。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>小規模の事業所でもあり、日常より利用者は職員との話が行われ、利用者からの相談や意見が聞かれている。利用者からの相談は職員会議等で職員間で共有され、必要に応じて対応が取られている。更に、利用者同士の懇談会への職員の出席や、利用者へのアンケートの実施などの取り組みを行っていくことも望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人として苦情解決規定が策定され、苦情受付窓口、解決責任者等が明記されている。苦情解決規定は法人のホームページに記載され常時閲覧が可能となっている。受け付けた苦情に関しては記録され、法人への報告と保管が行われている。入所時には、重要事項説明書にも記載され利用者などへの説明も行われている。アンケートからは苦情を第三者に申し入れることを知らない利用者が多く、事業所内に苦情処理に関する分かりやすい掲示を行うことや、苦情処理後の公表に関しても検討していくことが望まれる。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所には相談室が設けられ、いつでも利用者からの相談が受け付けられるようになっている。受け付けた相談に関しては、職員会議や日常の打ち合わせ時に職員間で情報の共有がなされ、対応できるものについては即対応し、本社と協議が必要なものについては、CS会議（管理者会議）等で報告し、本社の指示を仰いでいる。玄関には意見箱が設置されているが、記入用紙や筆記具の設置も望まれる。又、相談に関する規定を作るなど、相談や意見に関する処理を明確にしていくことも望まれる。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>同上</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「事故再発防止規定」が策定されており、事故発生時における対応が明記されている。事業所内におけるヒヤリハットに関しては記録され、都度対応が検討されている。ヒヤリハットをもとにした事故予防に関する取り組みも規定に加えていくことも望まれる。又、事業所ではプレス機や目打ち、針などの使用が行われており、これらの誤使用による危険防止に関しても更に検討を加えていくことが望まれる。</p>		

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人に所属する看護師による研修が毎年行われており、今回の新型コロナ感染症に対する対応規定も策定され、ホームページに掲載されている。その他の感染症に対するマニュアルとして厚労省による感染症対策マニュアルを使用し事業所内での対応が図られている。更に、事業所としてのマニュアルの策定や見直し、マニュアルをもとに利用者への指導を行っていくことも期待される。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>防災マニュアルが策定され、毎年2回の避難訓練が実施されている。本年度は5月に火災想定の実施、10月には地震想定の実施が予定されている。災害時は利用者は帰宅を原則としているが、一時的に帰宅不可能なことも想定して、必要な備蓄品の準備や、災害対応の為にヘルメット等の準備、地域との連携についても検討しておくことが望まれる。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法に関しては、苦情解決や事故解決等の規定が作られているが、更に支援に関する手順等充実していくことが望まれる。又、規定やマニュアル、手順に利用者の尊重などの姿勢を明示していくことも望まれる。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現有の支援の規定などに関しては定期的な見直しが行われているが、今後追加するものを含め、職員や利用者からの意見を反映して見直ししていくことが期待される。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定（又は作成）している。	(a) b c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入所時及び変化が見られる時に実施。実施にあたっては法人の統一した用紙を使用し、PCを使用し入力、管理者、サービス管理責任者、職員、相談支援事業所職員等を交えて検討会議を開催し、個別支援計画が作られている。</p>		

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画は入所から3か月までは毎月の見直し、それ以降は6か月単位での見直しが行われ、見直された内容はパソコン上に入力され、又、ケア会議等で情報の共有が行われている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者に関する日常の支援などに関する情報はケア記録として、パソコンに入力され、ネットワークを通じて全職員で情報の共有が行われている。職員による記録はサービス管理責任者により確認され、書き方に差が生じないように指導されている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人として「個人情報保護規定」が策定され、利用者の個人情報の管理、安全対策等が規定されている。事業所における各利用者の記録ファイルは日常は鍵付きロッカーに保管され、管理者及びサービス管理責任者が保管責任者となっている。パソコン上のデータに関しても、事業所外への持ち出しを防ぐため、USBメモリーなどへのダウンロードが出来ないようなシステムが作られている。更に、職員に対しての個人情報保護に関する研修をより積極的に行っていくことも期待される。</p>		

## 障害者・児福祉サービス版内容評価基準

### 評価対象 A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
46	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一般就労を目標とした職場でもあり、ふさわしくない服装については注意をしているが、それ以外の服装や髪形については基本的に利用者の主体性を尊重している。又、日常生活に関しても利用者よりの相談には応じるが、基本的には利用者の意向に任せている。更に、利用者同士での話し合いの場を設定するなど、日常の掃除などの職場のルールなどは利用者同士の話し合いによって決めてもらうようにしていくことも期待される。</p>		
A-1-(2) 権利擁護		
47	A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者への虐待防止に関しては運営規定に記載され、毎年虐待防止に関する研修が行われている。更に、身体以外での虐待や、具体的な事例をもとにした研修を行っていくことも期待される。</p>		

### 評価対象 A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
48	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者は基本的には自立した生活を送っており、利用者からの要望がある場合は相談や必要とされる情報の提供、行政手続きなどに同行等の支援をしている。又、金銭についても利用者自身の管理としており、原則として事業所で預かりなどの管理は行っていない。</p>		
49	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の障害の状況に応じた支援が行われており、現在は難聴の利用者がおり、この方とのコミュニケーションは時間をかけた話しかけや、筆談での対応が行われている。</p>		

50	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等適切に行っている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者は日常、休み時間などで職員と話が出来る環境となっており、相談室も設けられている。利用者からの相談内容は職員との日常のミーティングや職員会議で共有されており、必要に応じて個別支援計画への反映も行われている。又、地域のイベントなどの情報も朝礼などを通じて伝えられている。更に、地域の情報等は事業所内に掲示し、常時利用者が情報を得ることが出来るようにしておくことも期待される。</p>		
51	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の障害の状況などに応じて、日中の作業の内容を決めており、入所した時点では軽度の作業から開始し、適性を見ながら徐々に難度の高い作業へと移行している。地域のイベントなどの情報も朝礼などを通じて伝えられている。更に、地域の情報等は事業所内に掲示し、常時利用者が情報を得ることが出来るようにしておくことも期待される。</p>		
52	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の障害の状況に応じた支援に関して、ケア会議等で話し合いが行われ、障がいの症状に応じた支援が行われている。又、職員は定期的に行動障害に対応した支援等の研修を受講し、障害に対する適切な支援方法を学んでいる。</p>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
53	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>生活支援に関しては、利用者は自立しているため必要としていないが、事業所での昼食には法人の給食センターから希望する人には食事（給食）が配食されている。利用者は安価な負担で利用でき、温かい状態での提供であり、内容も満足のいくものとなっている。更に、食事に関するアンケート等も取っていく事も期待される。</p>		
A-2-(3) 生活環境		
54	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日中に作業が行われている部屋は空調がきき、清潔な場所での作業ができる環境となっている。体調がすぐれない利用者が出た場合は、一時的に休憩できる場所にベンチが用意されているが相談室の一角にあり、ゆっくりと休憩できる場所とはなっていない。回復しない場合は自宅へ送っていくことが行われているが、一時的であっても休憩場所をカーテンなどで仕切り、落ち着けるようにしていくことも期待される。</p>		

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
55	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 現状では訓練が必要な利用者は在籍していない。(対象外)</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
56	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 毎朝の体温及び体調の確認が行われている。医療的な研修は、毎年法人の看護師から受けており、日中の作業中一時的に体調が悪くなった利用者に関しては、看護師と連絡し指示を仰ぎ、事業所内での休息や帰宅などの処置がとられている。</p>		
57	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 対象外</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
58	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt; 利用者は事業所終了後、それぞれ独自に外出や買い物に出かけ、社会経験を積んでいる。利用者の社会参加を促すために、事業所から一般就労に関する情報提供や、職場見学などの取り組みが行われている。更に、地域におけるイベントなどの情報もより積極的に提供していくことも期待される。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
59	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 対象外</p>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
60	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 利用者のうち数名については家族との連携が必要であり、家族には連絡ノートを使用し、事業所での活動や、必要な情報提供が行われている。又、家族からの相談にも、利用者からの相談同様に対応され、職員間での共有がなされている。</p>		

### 評価対象 A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
61	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 対象外		

### 評価対象 A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
62	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	㉠・b・c
<コメント> ハローワークや就労支援センター等との連携、及び職員独自の活動により、利用者の就労企業の開拓を行っている。一般就労にあたっては、模擬面接、エチケット、マナーの研修、職場の担当者との打ち合わせ、職場見学や職場体験等を通して、利用者が一般就労でき、又、継続するような取り組みが行われ、今年度は1名以上一般就労させることを目標とし、今後は毎年3名ほどの一般就労を目標とすることを検討している。		
63	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 事業所内における作業は、最初は軽作業から始め、利用者の習熟や障害の症状を考慮して徐々に高度な作業や適性に合った作業を担当してもらっている。又、仕事の確保のため、事業所外の作業も地元の企業を訪問し、確保する取り組みも行っている。		
64	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	㉠・b・c
<コメント> ハローワーク、就労支援センター等との連携、及び職員独自の活動により、利用者の就労企業の開拓を行っている。一般就労にあたっては、模擬面接、エチケット、マナーの研修、職場の担当者との打ち合わせ、職場見学や職場体験等を通しての支援、決められた半年間の継続支援にかかわらず、その後も見守りを行い、定着するような取り組みを行っている。		